

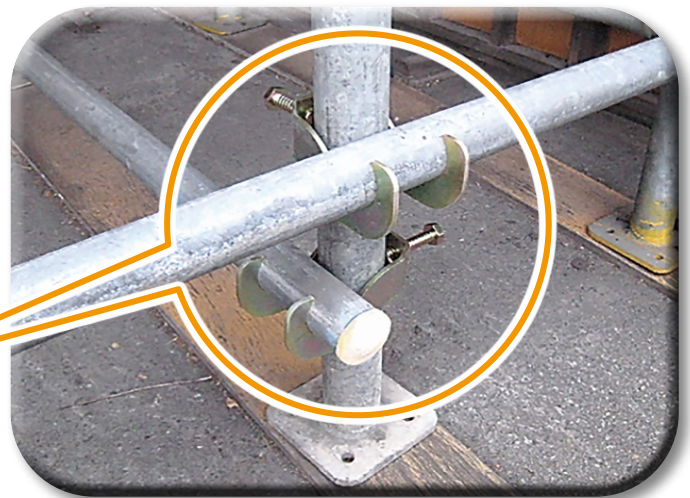
型枠支保工の根がらみ等の鋼管取付金具

コネクトクランプ[®] PAT.

《P》



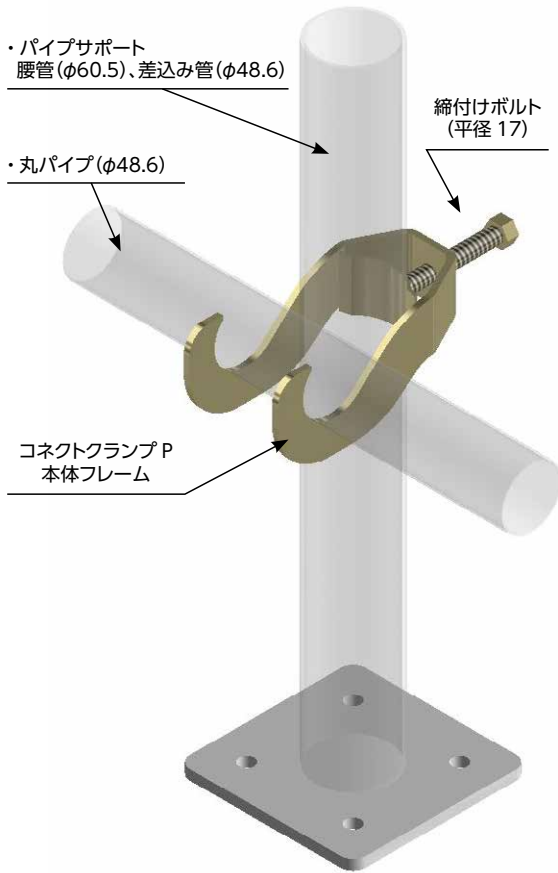
《KP》



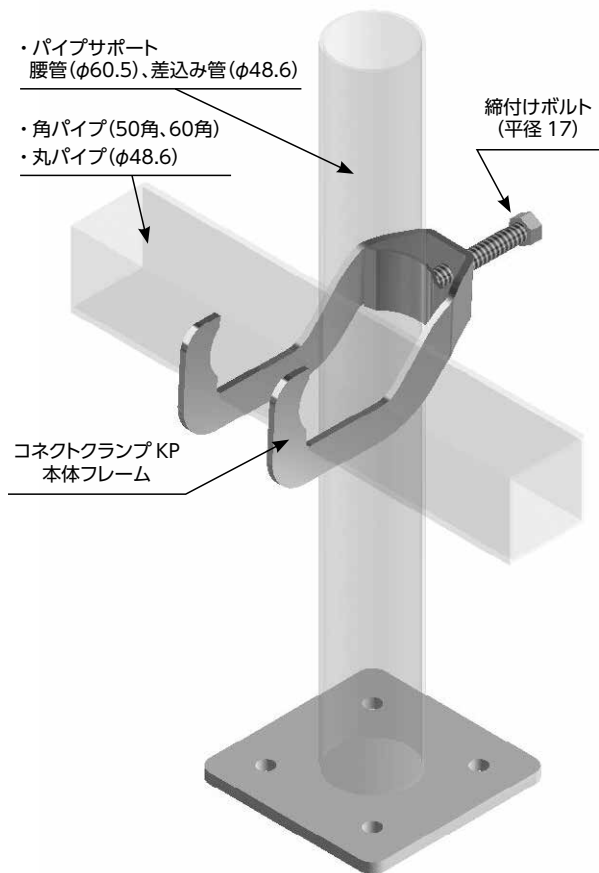
岡部株式会社

okabe

製品タイプ



品名	コネクトクランプ P
許容荷重	0.98kN (100kgf)
入数	40個
荷姿	PP袋
梱包質量	26 (kg/袋)



品名	コネクトクランプ KP
許容荷重	0.98kN (100kgf)
入数	25個
荷姿	PP袋
梱包質量	17 (kg/袋)

特長

優れた施工性

締付けボルト(締付けハンドル)にて、パイプの位置決めと締付け作業を同時に行うことができます。



締付けボルト (半径17)



締付けハンドル (オーダー対応)

安全・安心の強度

性能試験を実施し、十分な強度を確認しています。
(試験結果は2ページを参照ください。)

多様な用途(根がらみ、頭つなぎ等)



パイプサポート式
型枠支保工の根がらみ
(写真はコネクトクランプ P)

許容荷重について

労働安全衛生規則 第二百四十条3項四(次ページ参照)より、パイプサポートの許容支持力から算定される、水平方向への作用荷重**0.98kN(100kgf)**を許容荷重として決定しております。

[算定式]

パイプサポート
許容支持力
19.6kN
(2000kgf)

×

水平方向への
作用荷重
5.0%

=

コネクタランプ
許容荷重
0.98kN
(100kgf)

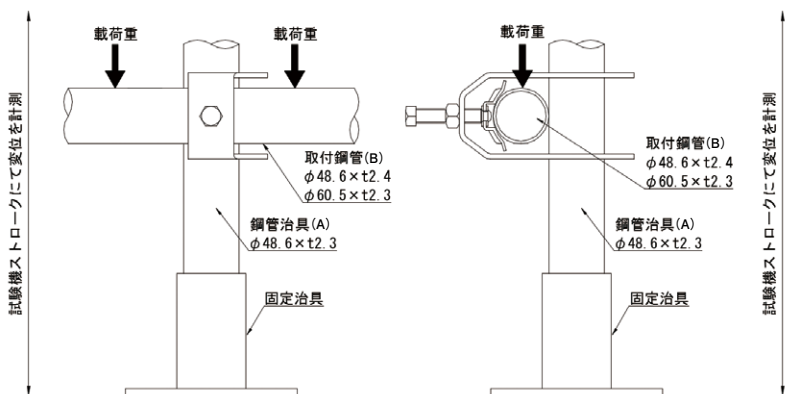
性能試験結果

表. コネクタランプ性能試験結果 (2017年06月 自社試験値)

型式	取付鋼管		試験体 No.	許容荷重時の変位量(mm)	試験後状況
	A	B			
コネクタランプ P	φ48.6×t2.3	φ48.6×t2.4	①	0.3	鋼管滑り
			②	0.4	鋼管滑り
			③	0.7	鋼管滑り
		φ60.5×t2.3	①	0.4	鋼管滑り
			②	0.2	鋼管滑り
			③	0.1	鋼管滑り
コネクタランプ KP	φ48.6×t2.3	φ48.6×t2.4	①	0.7	鋼管滑り
			②	0.7	鋼管滑り
			③	1.0	鋼管滑り
		φ60.5×t2.3	①	0.8	鋼管滑り
			②	0.4	鋼管滑り
			③	0.2	鋼管滑り
	□60×t2.3	φ48.6×t2.4	①	0.2	鋼管滑り
			②	0.4	鋼管滑り
			③	0.2	鋼管滑り
		φ60.5×t2.3	①	0.1	鋼管滑り
			②	0.4	鋼管滑り
			③	1.4	鋼管滑り

《各試験体の最大荷重は、許容荷重の安全率2(1.96kN)を満足しています。》

《締付けボルトの導入トルク値は、24.5N・m(250kgf・cm)》



試験概要図



試験状況写真

関係法令[労働安全衛生規則(抜粋)]

【労働安全衛生規則(型わく支保工の構造)第二百四十条】

事業者は、型わく支保工を組み立てるときは、組立図を作成し、かつ、当該組立図により組み立てなければならない。
(2項、3項一、二、三 号略)

3項 四. 鋼管枠以外のものを支柱として用いるものであるときは、当該型枠支保工の上端に、設計荷重の百分の五(5%)に相当する水平方向の荷重が作用しても安全な構造のものとすること。

【労働安全衛生規則(型枠支保工についての措置等)第二百四十二条】

事業者は、型枠支保工については、次に定めるところによらなければならない。(一、三、五、六、八～十一 号略)

- 二. 支柱の脚部の固定、根がらみの取付け等支柱の脚部の滑動を防止するための措置を講ずること。
- 四. 鋼材と鋼材との接合部及び交差部は、ボルト、クランプ等の金具を用いて緊結すること。
- 六. 鋼管(パイプサポートを除く。以下この条において同じ)を支柱として用いるものにあつては、当該鋼管の部分について次に定めるところによること。
 - イ. 高さ2m以内ごとに水平つなぎを二方向設け、かつ、水平つなぎの変位を防止すること。
- 七. パイプサポートを支柱として用いるものにあつては、当該パイプサポートの部分について次に定めるところによること。
 - イ. パイプサポートを3以上継いで用いないこと。
 - ロ. パイプサポートを継いで用いるときは、4以上のボルト又は専用の金具を用いて継ぐこと。
 - ハ. 高さが3.5mを超えるときは、前号イに定める措置を講ずること。

注意事項

《足場及び作業床等の鋼管の緊結金具としては使用禁止》

製品用途：型枠支保工の根がらみ等に使用する滑動防止用クランプ

- 製品用途以外には使用しない。
- 鋼管の引掛け部が変形していたり、コンクリートが付着したものは使用しない。
- 製品の変形・亀裂や著しい錆が発生したものは使用しない。
- 製品タイプに記載のない部材を取付けて使用しない。
- 根がらみ等を介してワイヤー等を取付けない。
- 本製品および設置した水平材の上に乗らない。
- 水平許容荷重0.98kN(100kgf)を超えて使用しない。
- 締付けボルトのトルク値は、24.5～34.3N・m(250～350kgf・cm)の範囲で締付ける。
- 締付けボルトの過度な締付け、締戻しはしない。本体や締付けボルトの変形と破損につながります。
- 水平つなぎに使用する場合は、型枠支保工が安全な構造であること且つ本製品に作用する外力が当社規定の製品許容荷重以下であることをご確認のうえ、ご使用ください。

《本製品は(一社)仮設工業会「仮設機材認定基準」対象の金具ではありません。》
※型枠支保工の根がらみに使用するクランプについて、認定基準はありません。

【免責事項】

本製品に問題が生じた場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させていただきます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。 ●本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合。 ●施工業者による施工・取扱いに起因する不具合。
- 引渡し後、製造・仕様・性能の改変を行い、これに起因する不具合。
- 開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合。



岡部株式会社

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL 03-3621-1611 FAX 03-3621-1616
<https://www.okabe.co.jp>

北海道支店 011(873)7201
東北支店
仙台営業部 022(288)7161
盛岡営業部 019(606)3780
信越支店
新潟営業部 025(287)7711
長野営業部 026(217)2445
東京支店 03(3623)6441
東京営業部 03(3623)8181

千葉営業部 043(290)0150
横浜営業部 045(651)1741
北関東営業部 0480(25)5656
特販営業部 03(5637)7196
名古屋支店
名古屋営業部 0568(71)6321
静岡営業部 054(204)2050
北陸営業部 076(238)7353

関西支店
大阪兵庫営業部 06(6339)9001
京滋営業部 0774(43)2200
中四国支店
広島営業部 082(254)4811
岡山営業部 086(273)5671
山口営業部 083(902)1452
山陰営業部 0853(24)9856
四国営業部 087(841)0023

九州支店 092(624)5871
福岡営業部 092(624)5886
大分営業部 097(547)8861
長崎営業部 095(882)8282
宮崎営業部 0985(29)4965
熊本営業部 092(624)5873
鹿児島営業部 099(812)8380
沖縄支店 098(856)2700

●特約店・取扱店